

# 数学

北海道大学 総合入試【文系】、学部入試【文・教育・法・経済・医（保健看護・作業）】

## <全体分析>

試験時間	90分	解答問題数	4題
------	-----	-------	----

<p><b>解答形式</b> 全問記述形式</p> <p><b>分量・難易（前年比較）</b> 分量（減少・やや減少・<b>変化なし</b>・やや増加・増加） 難易（易化・やや易化・変化なし・<b>やや難化</b>・難化） かなり易しかった昨年より難化した。解きにくい設問・問題がやや多い。</p> <p><b>出題の特徴や昨年との変更点</b> <b>2</b> のスタートの条件式が理系の <b>5</b> (1)の条件式と似ている。（類似問題）</p> <p><b>その他トピックス</b> 未経験の受験生が多いと思われる「抽象関数」の問題（<b>4</b>）が出題された。</p>
--

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
<b>1</b>	微分法の応用	数学Ⅱ	典型的な3次関数の極値と接線の問題。やや数値が大きいので、計算ミスに注意して完答したい。	やや易
<b>2</b>	場合の数 三角比	数学A 数学I	条件を満たすすべての場合が10組しかないことに気づくと、あとはそれらをすべて調べるだけになる問題だが、簡単ではないのかもしれない。	標準
<b>3</b>	数列	数学B	見慣れない形の漸化式の問題は2年連続である。誘導に乗ってしまえば、それほど難しくはないが、昨年よりは経験の差が出てくるだろう。	標準
<b>4</b>	関数とグラフ 指数関数	数学I 数学Ⅱ	最近の受験生は、ほとんど経験していないタイプの問題なので、何をしたらいいのかわからず、最初から手を出せない可能性が高い。	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

<p>ほとんどが最後まで解けそうな問題だった昨年よりは難しくなり、今年は、受験勉強での経験の差が表れる問題も含まれていた。今回の <b>4</b> のような多くの受験生が手を出しにくい問題は、ほとんどの場合が合否に影響ない。日頃から自分の解ける設問を常に正確に解く練習をしておけば、それが部分点の確保の練習になり、得点の積み重ねによって合格ラインを突破することが可能になる。どのような難易の問題が出題されても、合格できるための得点を獲得することを意識して、普段からしっかり学習しておきたい。</p>
---